



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 三ツ星
 コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 競 良一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 金城 安弘

TEL 06-6261-8882

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,136	4.5	60	33.3	60	20.6	40	11.9
2019年3月期第1四半期	2,236	2.1	90	18.0	76	27.9	46	34.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 47百万円 (206.2%) 2019年3月期第1四半期 15百万円 (82.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	35.55	
2019年3月期第1四半期	40.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,094	5,635	55.8
2019年3月期	10,311	5,656	54.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 5,635百万円 2019年3月期 5,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		60.00	60.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,430	1.5	120	28.6	140	15.6	90	11.3	78.82
通期	9,000	1.8	260	8.1	270	9.4	200	67.4	175.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,266,655 株	2019年3月期	1,266,655 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	124,779 株	2019年3月期	124,779 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	1,141,876 株	2019年3月期1Q	1,141,917 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策効果もあり、企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調が続きました。

一方、世界経済は、米中通商問題の動向、中国の景気減速、金融資本市場の変動の影響等により先行きが不透明な状況となっております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、設備投資は、企業収益の改善や成長分野への対応により増加傾向にあり、また新設住宅着工件数も前年同期より増加となっております。

このような状況の中、当社グループの売上高は、主原材料である銅価格が前年同期より5%下落したことに加え、出荷量も10%減少したことなどにより、売上高は前年同期より減少しました。

営業利益につきましては、国内子会社の工場移転に係る費用の発生や海外子会社の新工場に係る費用増加の影響により前年同期より減少しました。

経常利益につきましては、前期発生していた為替差損が今期は為替差益へと転じましたが、上記理由により前年同期より減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上や法人税等合計額が減少しましたが、上記理由により前年同期より減少しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,136百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は60百万円（前年同期比33.3%減）、経常利益60百万円（前年同期比20.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔電線〕

当事業の主要な市場である建設・電販向けは、東京オリンピック・パラリンピック、首都圏再開発などの需要が顕著であるものの、米中通商問題の影響で半導体、ロボット、FA関連の動きが鈍くなっていることもあり、出荷量が前年同期よりも減少した結果、売上高は1,380百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

利益面につきましては、運賃運送費の値上げなどを考慮して販売価格を3%程度上げた結果、利益率は改善しましたが、上記理由によりセグメント利益は35百万円（前年同期比44.3%減）となりました。

海洋土木向けの新製品の開発も進めており、また、フィリピン子会社のゴム電線を強化する為、新たに多芯物（4芯まで）設備の導入も検討しております。

〔ポリマテック〕

当事業に関連のある新設住宅着工件数が前年比5.6%増加した影響と、既存顧客拡販案件と土木関連製品の販売が増加した結果、売上高は566百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

また、下期に向けて拡販活動を重点的に行い、新規案件も獲得しています。

利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減、販売価格の改訂に取り組み、セグメント利益は17百万円（前年同期比89.3%増）となりました。

フィリピン子会社での地産地消の案件獲得に向けて、金型設計も進めております。

〔電熱線〕

白物家電機器向けヒーター用途の販売は前年同期比増となりましたが、昨年に引き続きスマートフォンの需要鈍化によるスマートフォン製造装置向けヒーター用途が減少していることや、中国の景気減速の影響による産業ロボット向け抵抗器用途も減少傾向が継続していることに加え、米中通商問題の影響により産業機器向けの販売が不調となった結果、売上高は190百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

利益面につきましては、比較的付加価値の高いニッケル系鋼種の産業機器向け販売不調により減少したことや、工場移転に向けた費用の増加などにより、セグメント利益は7百万円（前年同期比57.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,509百万円となり、前連結会計年度末と比べ327百万円減少しました。これは主に仕掛品が54百万円、商品及び製品が45百万円、原材料及び貯蔵品が26百万円増加しましたが、現金及び預金が300百万円、受取手形及び売掛金が146百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円増加しました。これは主に有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が138百万円増加しましたが、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が13百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は10,094百万円となり、前連結会計年度末に比べ217百万円減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ511百万円減少しました。これは主に電子記録債務が31百万円増加しましたが、短期借入金が302百万円、支払手形及び買掛金が139百万円、未払法人税等が118百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ315百万円増加しました。これは主に長期借入金が323百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,458百万円となり前連結会計年度末に比べ196百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,635百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少しました。これは主にその他有価証券評価差額金が8百万円増加しましたが、利益剰余金が27百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は55.8%（前連結会計年度末は54.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,673,373	1,373,359
受取手形及び売掛金	2,981,829	2,835,443
電子記録債権	458,908	472,007
商品及び製品	998,752	1,043,817
仕掛品	277,754	331,821
原材料及び貯蔵品	347,668	374,604
その他	99,110	78,379
流動資産合計	6,837,397	6,509,432
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,582,709	1,582,486
その他(純額)	1,060,934	1,189,089
有形固定資産合計	2,643,643	2,771,576
無形固定資産		
158,644	158,644	155,534
投資その他の資産		
投資有価証券	563,152	561,885
その他	110,118	97,458
貸倒引当金	△1,775	△1,775
投資その他の資産合計	671,495	657,569
固定資産合計	3,473,783	3,584,680
資産合計	10,311,180	10,094,112
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	732,997	593,527
電子記録債務	1,272,215	1,303,449
短期借入金	622,263	320,000
1年内返済予定の長期借入金	267,219	297,300
リース債務	64,850	64,503
未払金	276,900	211,013
未払法人税等	131,049	12,635
賞与引当金	36,476	35,653
その他	50,072	104,329
流動負債合計	3,454,045	2,942,412
固定負債		
長期借入金	898,646	1,222,515
退職給付に係る負債	45,714	53,364
リース債務	250,015	233,622
その他	6,455	6,606
固定負債合計	1,200,832	1,516,109
負債合計	4,654,878	4,458,522

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,657	1,133,657
利益剰余金	3,275,508	3,247,592
自己株式	△150,590	△150,590
株主資本合計	5,395,093	5,367,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,542	194,028
為替換算調整勘定	15,614	15,338
退職給付に係る調整累計額	60,051	59,045
その他の包括利益累計額合計	261,208	268,412
純資産合計	5,656,302	5,635,590
負債純資産合計	10,311,180	10,094,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,236,527	2,136,594
売上原価	1,763,237	1,683,937
売上総利益	473,290	452,656
販売費及び一般管理費	382,995	392,470
営業利益	90,294	60,186
営業外収益		
受取利息	39	15
受取配当金	6,190	6,163
受取家賃	2,313	2,151
仕入割引	1,289	1,312
その他	2,765	2,849
営業外収益合計	12,597	12,492
営業外費用		
支払利息	2,337	3,168
売上割引	4,672	4,560
為替差損	16,151	—
その他	3,435	4,335
営業外費用合計	26,596	12,064
経常利益	76,295	60,614
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,333
特別利益合計	—	1,333
特別損失		
固定資産除却損	0	0
事務所移転費用	497	—
特別損失合計	497	0
税金等調整前四半期純利益	75,797	61,948
法人税、住民税及び事業税	8,918	11,142
法人税等調整額	20,814	10,209
法人税等合計	29,732	21,351
四半期純利益	46,064	40,596
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,064	40,596

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	46,064	40,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,621	8,485
為替換算調整勘定	△7,285	△276
退職給付に係る調整額	△545	△1,006
その他の包括利益合計	△30,452	7,203
四半期包括利益	15,612	47,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,612	47,799

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	1,492,088	550,900	193,538	2,236,527
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,294	—	42	4,337
計	1,496,383	550,900	193,581	2,240,864
セグメント利益	62,923	9,216	18,154	90,294

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	1,380,361	566,133	190,099	2,136,594
セグメント間の内部売上高又は振替高	381	—	—	381
計	1,380,742	566,133	190,099	2,136,975
セグメント利益	35,070	17,443	7,672	60,186

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。